

令和7年度学校安全計画(小学部)

高知大学教育学部附属特別支援学校

学校安全教育目標		①日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基盤を培うとともに、進んで安全で安心な社会作りに貢献できるよう、安全に関する資質・能力を育成する。 ②個々の発達段階・障害特性に応じて、必要な支援を受けながら、安心して安全に生活できる力を育てる。										
学校安全に関して目指す児童生徒		・日常生活において、危険な状況を適切に判断し、周囲に伝え、回避するために最善をつくそうとする。 ・危険に曝して自らの命を守り抜く。 ・自らすすんで安心で安全な生活づくりができる。										
小学部の目標		1 日常生活場面において、危険なことが分かり、また、安全に行動することの大切さを理解し、安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。 2 非常時においては、教職員や保護者の指示を聞いて行動できるようにする。										
項目		4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
月の重点		・安全に通学をしよう	・通学路の安全について考えよう	・熱中症に気をつけよう	・安全にプールを楽しもう ・健康に気を付けて夏休みを過ごそう	・火災避難について学ぼう	・運動するときの安全について考えよう	・身近な危険について考えよう	・自分の健康について考えよう	・災害について考えよう	・地震から身を守る方法について考えよう	・安全な生活について考えよう
安全	体育	・体育設備・施設の使用 ・基本運動の指導における安全 ・体力テスト用具の点検と使い方 ・場に適した安全行動を身に付ける	・基本運動の指導における安全 ・救急法、心肺蘇生法講習	・プールにおける安全		・運動会の指導における安全 ・基本運動の指導における安全	・運動会の指導における安全 ・基本運動の指導における安全	・基本運動の指導における安全	・基本運動の指導における安全	・マラソンの指導における安全、持久走の指導における安全 ・基本運動の指導における安全		
	保健	○身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をより実践的に学ぶことができる。 ・健康な生活 ・体の発育・発達 ・心の健康 ・けがの防止 ・病気の予防 ・衛生面に関する学習（感染症対策など）										
	生活単元学習	・学習で使用する道具の名称が分かり、正しい使い方ができる ・支援を受けながら、学習で使用する道具の準備や片付けができる。 ・信号や横断歩道など基礎的な交通ルールを守り、また、社会のルールを守り行動することができる。 ・学習場面だけがやトラブルがあったときに、支援や手当てを受けることができる。 (例 はさみの使用：紙を切る、正しい持ち方、使い方をを知る。使った後は道具箱に入れるなど、安全性を確保する。はさみ、カッターなど道具は児童の実態や課題を考慮して選ぶ) ・場に適した安全行動を身に付ける。										
		※学習・生活場面において用いられる身近なもののから学んでいく。										
	自立活動	・生活安全、交通安全、災害安全等に関する体験を通して、身を守ることの大切さを知ることができる。										
全	生活安全		・防犯教室									
	交通安全	・交通安全教室 (自転車に乗る場合は、ヘルメット着用の確認)										
教	災害安全	・火災避難訓練の大切さ ・教職員避難訓練 ・場に適した安全行動を身に付ける	・スクールバス避難訓練 ・地震避難訓練 ・頭を守る大切さ、落下物、破壊物への注意 ・起震車体験による揺れの強さ、身の守り方		・教職員避難訓練	・火災避難訓練 ・避難経路の確認、火元を回避して避難 ・消火訓練による消火器の扱い方及び初期消火の目安	・引き渡し訓練(シェイクアウト訓練含む)		・教職員火災避難訓練	・火災避難訓練	・地震避難訓練	
育	学級・ホームルーム活動											
	学校行事等	・入学式、始業式 ・体力テスト ・新入生歓迎行事 ・(高)参観週間 ・(中)参観週間 ・定期健康診断	・(小)参観週間 ・(高2・3)現場実習 ・(小)自然体験 ・高知県障害者スポーツ大会	・実習田田植え ・プール掃除、プール開き ・(中)わくわくチャレンジ ・(小)学校見学会(体験) ・(中)学校見学会(体験)	・(小1)自然体験 ・(小2・3)林間学校 ・(小)七夕、水泳大会 ・(高)学校見学会(体験) ・(小中高)登校日 ・期末懇談週間 ・終業式 ・PTA環境整備	・始業式 ・教育実習 ・プール納め ・高知県障害者スポーツ大会	・大運動会 ・連合運動会 ・稲刈り ・修学旅行前内科検診 ・(小6、中2・3)修学旅行 ・(高2・3)修学旅行	・(高2・1・中3)現場実習 ・(小)親子みかん狩り ・(中)集中作業学習 ・(小)きらきらフェスティバル	・特別支援学級・学校児童生徒作品展・体力テスト ・もちつき ・第26回教育研究会 ・懇談週間 ・(小)クリスマス会 ・(高1)附属幼稚園との交流及び共同学習 ・終業式 ・一斉整理日	・始業式 ・じんげんの花 ・マラソン前内科検診 ・学校参観週間(進路関係)	・(小)節分 ・教育実習・観察実習 ・マラソン大会 ・(高)おわかれ行事 ・歯みがき指導・歯科検診 ・精神科健康相談 ・就学前健診	・教育実習 ・(小)ひなまつり ・お別れ遠足 ・学年末学部懇談週間 ・卒業式、卒業生を送る会 ・修了式、離任式
	対人管理	・児童生徒の状況把握及び健康観察 ・通学経路の確認(各担任) ・避難経路確認 ・緊急体制の確認 ・危機管理マニュアルの確認	・不審者の通報及び避難誘導 ・避難経路確認	・心肺蘇生法の確認 ・AEDの使い方の確認 ・水泳指導健康管理	・夏季休業中の安全な過ごし方		・避難経路の確認		・冬季休業中の安全な過ごし方	・マラソン指導健康管理		・春季休業中の安全な過ごし方
	対物管理	・消防計画届け出(毎年) ・通学経路の確認(各担任) ・防災マニュアル(地震・津波編) ・校舎内施設、設備、遊具等の点検(各学部等) ・水質検査	・プール施設、設備点検	・プール管理	・冷房器具の設備点検					・マラソンコースの安全確認 ・暖房器具の設備点検		
	各教室、特別教室等の防火管理担当者による毎日の消防設備点検と閉鎖障害チェック、校内巡回指導											
学校安全に関する組織活動(研修含む)		・校内保健安全委員会(年6回)、労働安全衛生委員会(年6回)、学校保健安全委員会(年1回、研修年1回)、アレルギー委員会(校内危機管理委員会に含む)、小津地区労働安全委員会(月1回、研修年1回)、校内医療的ケア委員会(月1回)										
		・教職員火災地震防災訓練研修 ・火災避難訓練 ・交通安全教室	・スクールバス避難訓練 ・防犯教室	・救急法学習会 ・地震避難訓練及び起震車体験	・教職員地震避難訓練	・火災避難訓練 ・消火訓練 ・消防計画の作成	・児童生徒引き渡し訓練			・火災避難訓練	・地震避難訓練 ・1年間の総括	・次年度の計画

令和7年度学校安全計画(中学部)

高知大学教育学部附属特別支援学校

学校安全教育目标

学校安全に関して目指す児童生徒像

- ・日常生活において、危険な状況を適切に判断し、周囲に伝え、回避するために最善をつくそうとする。
- ・危険に際して自らの命を守り抜く。
- ・自らすすんで安心して安全な生活づくりができる。

中学部の目標

- 1 安全に行動することの大切さや危険の要因、事故等の防止について理解し、日常生活における安全の状況を判断し安全な行動ができるようにする。
- 2 非常時においては、教職員や保護者、周囲の大人の支援を受けながら自らの安全を守る行動ができるとともに、危険な状況を周囲の大人に伝えることができる。

項目		4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点		・安全に通学をしよう	・通学路の安全について考えよう	・熱中症に気をつけよう	・安全にプールを楽しもう ・健康に気を付けて夏休みを過ごそう	・災害について考えよう	・運動するときの安全について考えよう	・身近な危険について考えよう	・自分の健康について考えよう	・火災避難について学ぼう	・地震から身を守る方法について考えよう	・安全な生活について考えよう	
安全	体育	サーキットトレーニングの指導における安全 体力テスト用具の点検と使い方 ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。	基本運動の指導における安全 熱中症に関する指導。	プールの安全な使い方、水泳に関する救急法講習、心肺蘇生法		サーキットトレーニングの指導における安全。	運動会の指導における安全	サーキットトレーニングの指導における安全	サーキットトレーニングの指導における安全	マラソンの指導における安全 サーキットトレーニングの指導に関する安全			
	保健	○個人生活における健康・安全に関する内容をより科学的に学ぶことができる。 ・健康な生活と疾病の予防 ・心身の機能の発達と心の健康 ・傷害の防止 ・健康と環境 ・衛生面に関する学習（感染症対策など） ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。											
	生活単元学習	・学習や生活場面で使用する道具類の用途や正しい扱い方・危険性を知り、安全に使用することができる。 ・学習や生活場面で使用する道具類の準備や片付け、安全点検ができる。 ・交通ルールや社会のルール・マナーを知り、安全かつ適切な行動をとることができる。 ・学習や生活場面において、けがやトラブルなどがあつたときに、教職員に知らせ、適切な行動をとることができる。 （例 顔の使用。 耕し、畝上げ、畝の仕上げなど活動に応じた道具を選び、周囲の安全を確認した上で作業する。使用前には、不具合がないか確認し、使用後には整頓して片付ける。作業中、何かあれば教員に知らせる。） ※学習・生活場面において用いられるものから、さらに状況や用途に応じて広がりをもたせていく。 ・場に適した安全行動のとり方を身に付ける。											
	職業・家庭	・ガスや火など正しい扱い方や危険性を知り、安全に使用することができる。 ・調理用具の正しい扱い方や危険性を知り、安全に使用することができる。 ・食器など割れ物に気をつけて取り扱うことができる。 ・電子レンジ、ポット、アイロン、洗濯機、掃除機など身近な家電の用途を知り、正しく使用することができる。 ・針やはさみをはじめ鋭利に必要な道具の用途、正しい扱い方や危険性を知り、安全に使用することができる。 ・生活場面における生活用品の正しい扱い方や危険性を知り、安全に使用することができる。 ・ミスやトラブルがあつたときに、教員に報告することができる。 ・家庭や学校内での安全、危険箇所について知ることができる。 ・災害時の避難や対応について知ることができる。 ・場に適した安全行動のとり方を身に付ける。											
	作業学習	・作業内容に応じた正しい道具を選び、正しい使い方・危険性を知り、安全に使用することができる。 ・作業場のルールを理解し、安全に活動を進めることができる。 ・ミスやトラブルがあつたときに、教員に報告することができる。 ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。											
	特別活動	・生徒会活動を中心に、学校生活における安全について知ることができる。											
	自立活動	・生活安全、交通安全、災害安全等について知り、安全な行動ができる。											
教育	総合的な学習の時間	・学校における全教育活動との関連を基に、自然体験や様々な活動を通して、自発的な計画に基づき安全に対する意識を高めることができる。											
	生活安全		・防犯教室										
	交通安全	・交通安全教室 （自転車通学者のヘルメット着用の確認）											
	災害安全	・火災避難訓練の大切さ	・スクールバス避難訓練	・避難訓練（地震から火災へ）頭を守る大切さ、落下物、街建物への注意 ・起震車体験による揺れの強さ、身の守り方	・火災避難訓練 避難経路の確認、火元を回避して避難 ・消火訓練による消火器の扱い方及び初期消火の目安	・引き渡し訓練		・教職員火災避難訓練	・火災避難訓練	・地震避難訓練			
学校・ホームルーム活動	各月の避難訓練や安全指導に対して学級活動を活用して、事前学習や事後学習を行い児童生徒がより理解を深め、行動することができる。												
	学校行事等	・入学式、始業式 ・体力テスト ・新入生歓迎行事 ・（高）参観週間 ・（中）参観週間 ・定期健康診断	・（小）参観週間 ・（高2・3）現場実習 ・（中）自然体験 ・高知県障害者スポーツ大会	・実習田田植え ・プール掃除、プール開き ・（中）わくわくチャレンジ ・（小）学校見学会（体験） ・（中）学校見学会（体験） ・期末懇談週間 ・終業式 ・技能検定 ・PTA環境整備	・（小1）自然体験 ・（小2・3）林間学校 ・（小）七夕、水泳大会 ・（高）学校見学会（体験） ・（小中高）登校日 ・修学旅行前内科検診 ・（小6、中2・3）修学旅行 ・（高2・3）修学旅行	・大運動会 ・運動会 ・教育実習 ・プール納め ・高知県障害者スポーツ大会	・（高2・1・中3）現場実習 ・（小）親子みかん狩り ・（中）集中作業学習 ・（小）きらきらフェスティバル	・特別支援学級・学校児童生徒作品展 ・体力テスト ・もちつき ・第26回教育研究会 ・懇談週間 ・（小）クリスマス会 ・（高1）附属幼稚園との交流及び共同学習 ・終業式 ・一斉整理日	・始業式 ・じんげんの花 ・マラソン前内科検診 ・学校参観週間（進路関係）	・（小）節分 ・教育実習・観察実習 ・マラソン大会 ・（高）おわかれ行事 ・歯みがき指導・歯科検診 ・精神科健康相談 ・就学前健診	・教育実習 ・（小）ひなまつり ・お別れ遠足 ・学年末学部懇談週間 ・卒業式、卒業生を送る会 ・修了式、離任式		
	部活動…サッカー部、ダンス部、バドミントン部は各都ごとに放課後や休日を活用した部活動において安全に配慮した指導を行う。												
安全管理	対人管理	・児童生徒の状況把握及び健康観察 ・通学経路の確認（各担任） ・避難経路確認 ・緊急体制の確認 ・危機管理マニュアルの確認	・不審者の通報及び避難誘導 ・避難経路確認	・心肺蘇生法の確認 ・AEDの使い方の確認 ・水泳指導健康管理	・夏季休業中の安全な過ごし方	・避難経路の確認		・冬季休業中の安全な過ごし方	・マラソン指導健康管理		・春季休業中の安全な過ごし方		
	対物管理	・消防計画届け出（毎年） ・通学経路の確認（各担任） ・防災マニュアル（地震・津波編） ・校舎内施設、設備、道具等の点検（各学部等） ・水質検査	・プール施設、設備点検 ・プール管理	・冷房器具の設備点検				・マラソンコースの安全確認 ・暖房器具の設備点検					
	各教室、特別教室等の防火管理担当者による毎日の消防設備点検と閉鎖障害チェック、校内巡回指導												
学校安全に関する組織活動（研修含む）		・校内保健安全委員会（年6回）、労働安全衛生委員会（年6回）、学校保健安全委員会（年1回、研修年1回）、アレルギー委員会（校内危機管理委員会に含む）、小津地区労働安全委員会（月1回、研修年1回）、校内医療的ケア委員会（月1回） ・教職員火災地震防犯訓練研修 ・火災避難訓練 ・交通安全教室	・スクールバス避難訓練 ・防犯教室	・救急法学習会 ・地震避難訓練及び起震車体験	・教職員地震避難訓練	・火災避難訓練 ・消火訓練 ・消防計画の作成	・児童生徒引き渡し訓練	・教職員火災避難訓練	・火災避難訓練	・地震避難訓練 ・1年間の総括	・次年度の計画		

令和7年度学校安全計画（高等部）

高知大学教育学部附属特別支援学校

学校安全教育目標		①日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基盤を培うとともに、進んで安全で安心な社会作りに関与できるよう、安全に関する資質・能力を育成する。 ②個々の発達段階・障害特性に応じて、必要な支援を受けながら、安心して安全に生活できる力を育てる。											
学校安全に関して目指す児童生徒像		・日常生活において、危険な状況を適切に判断し、周囲に伝え、回避するために最善をつくそうとする。 ・危険に陥って自らの命を守り抜く。 ・自らすすんで安心で安全な生活づくりができる。											
高等部の目標		1 地域の安全の問題を踏まえ、「生活安全」「交通安全」「災害安全」を主とする様々な危険の要因や事故等の防止について理解し、日常生活における危険を予測し自他の安全のために主体的に行動できるとともに、支援を受けながら、安全な生活を実現するために適切に意思決定し行動できるようにする。 2 非常時には、自らの安全を守る行動できるとともに、危険な状況を伝えたり、必要な支援を求めることができる											
		4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3	
月の重点		・安全に通学をしよう	・通学路の安全について考えよう	・熱中症に気をつけよう	・安全にプールを楽しむよう ・健康に気を付けて夏休みを過ごそう	・火災避難について学ぼう	・運動するときの安全について考えよう	・身近な危険について考えよう	・自分の健康について考えよう	・災害について考えよう	・地震から身を守る方法について考えよう	・安全な生活について考えよう	
安全 教育	体育	・体育設備・施設の使用 ・体力テスト用具の点検と使い方 ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。	・フットベースボール、ダンス、基本運動等の指導における安全 ・サーキットトレーニングの指導における安全 ・基本運動の指導における安全	・プールにおける安全		・運動会の指導における安全 ・サーキットトレーニングの指導における安全 ・基本運動の指導における安全	・運動会の指導における安全 ・サーキットトレーニングの指導における安全 ・基本運動の指導における安全	・サーキットトレーニングの指導における安全 ・基本運動の指導における安全	・サーキットトレーニングの指導における安全 ・基本運動の指導における安全 ・マラソンの指導における安全、持久走の指導における安全				
	保健	○個人及び社会生活における健康・安全に関する内容をより総合的に学び、深めることができる。 ・現代社会と健康 ・安全な社会生活 ・生涯を通じる健康 健康を支える環境作り ・衛生面に関する学習（感染症対策など） ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。											
	生活単元学習	・学習や生活場面において用途に応じた道具類を判断し、正しく安全、かつ効率的に使用することができる。 ・学習や生活場面において使用する道具類の安全点検や管理ができる。 ・社会のルールやマナーを理解し、安全かつ適切な行動をとることができる。 ・学習や生活場面において、事故やトラブルがあったときに、適切に伝え、対応することができる。（例 両口げんのうの使用。打つ釘の大きさや自分の使い勝手の良い両口げんのうを選ぶ。作業前には不具合がないか点検するとともに、作業場を見て、安全が確保されているか確認する。作業中に不具合が生じた場合は、状況を正しく教員に知らせる。使った後は整理して片付ける。） ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。 ※学習・生活場面から、さらには職業生活を見据えて広がりをもたせていく。											
	作業学習	・作業内容に応じた正しい道具を考え、判断し、正しく、安全かつ効率的に使用することができる。 ・作業場のルールを理解し、周囲の安全に留意しながら、安全、正確、効率的に活動を進めることができる。 ・ミスやトラブルなどがあったときに、正確に教員に報告をし、対応することができる。 ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。											
	家庭科	・ガスや火など正しい扱い方や危険性を理解し、用途に応じて安全かつ効率的に使用することができる。 ・調理用具の正しい扱い方や危険性を理解し、用途に応じて安全かつ効率的に使用することができる。 ・食器など割れ物の取り扱い方を知り、用途に応じて安全に使用することができる。 ・電子レンジ、ポット、アイロン、洗濯機、掃除機など身近な家電の用途を知り、正しく使用するとともに、安全点検・管理ができる。 針やはさみをはじめ裁縫に必要な道具の用途、正しい扱い方や危険性を理解し、用途に応じて安全かつ効率的に使用することができる。 ・生活場面における生活用品の正しい扱い方や危険性を理解し、用途に応じて安全かつ効率的に使用することができる。 ・ミスやトラブルなどがあったときに、正確に教員に報告をし、対応することができる。 ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。											
	特別活動	・生徒会活動を中心に、学校生活における安全について考え、自ら安全な生活を作ることができる。											
	自立活動	・生活安全、交通安全、災害安全等についての理解を深め、自他の安全のために主体的な行動をとること、安全な生活を実現するために意志決定し、行動できる。											
	総合的な探究の時間	・学校における全教育活動との関連を基に、自然体験や様々な活動を通して、自発的な計画に基づき安全に対する意識を高めることができる。											
	育	生活安全		・防犯教室									
		交通安全	・交通安全教室(中高等部) (自転車通学者のヘルメット着用の確認)	・交通安全教室(小学部)									
		災害安全	・スクールバス避難訓練 ・学習場面、場所に適した安全行動を身に付ける。		・避難訓練(地震から火災へ)頭を守る大切さ、落下物、倒壊物への注意 ・地震車体験による揺れの強さ、身の守り方		・火災避難訓練 避難経路の確認、火元を回避して避難 ・消火訓練による消火器の扱い方及び初期消火の目安	・引き渡し訓練		・教職員火災避難訓練	・火災避難訓練	・地震避難訓練	
学級・ホームルーム活動		各月の避難訓練や安全指導に対して学級活動を活用して、事前学習や事後学習を行い児童生徒がより理解を深め、行動することができる。											
学校行事等		・入学式、始業式 ・体力テスト ・新入生歓迎行事 ・(高)参観週間 ・(中)参観週間 ・定期健康診断	・(小)参観週間 ・(高2・3)現場実習 ・(中)自然体験 ・高知県障害者スポーツ大会	・実習田田植え ・プール掃除、プール開き ・(中)わくわくチャレンジ ・(小)学校見学会(体験) ・(中)学校見学会(体験)	・(小1)自然体験 ・(小2・3)林間学校 ・(小)七夕、水泳大会 ・(高)学校見学会(体験) ・(小中高)登校日 ・期末懇談週間 ・終業式 ・技能検定 ・PTA環境整備	・始業式 ・教育実習 ・プール納め ・高知県障害者スポーツ大会	・大運動会 ・連合運動会 ・箱刈り ・修学旅行前内科検診 ・(小6、中2・3)修学旅行 ・(高2・3)修学旅行	・(高2・1・中3)現場実習 ・(小)親子みかん狩り ・(中)集中作業学習 ・(小)きらきらフェスティバル	・特別支援学級・学校児童生徒作品展 ・体力テスト ・もちつき ・第26回教育研究会 ・懇談週間 ・(小)クリスマス会 ・(高1)附属幼稚園との交流及び共同学習 ・終業式 ・一斉整理日	・始業式 ・しんけんの花 ・マラソン前内科検診 ・学校参観週間(進路関係)	・(小)節分 ・教育実習・観察実習 ・マラソン大会 ・(高)おわかれ行事 ・歯みがき指導・歯科検診 ・精神科健康相談 ・就学前健診	・教育実習 ・(小)ひなまつり ・お別れ遠足 ・学年末学部懇談週間 ・卒業式、卒業生を送る会 ・修了式、離任式	
		部活動…サッカー部、ダンス部、バドミントン部は各部ごとに放課後や休日を活用した部活動において安全に配慮した指導を行う。											
安全管理	対人管理	・児童生徒の状況把握及び健康観察 ・通学経路の確認(各担任) ・避難経路確認 ・緊急体制の確認 ・危機管理マニュアルの確認	・不審者の通報及び避難誘導 ・避難経路確認	・心肺蘇生法の確認 ・AEDの使い方の確認 ・水泳指導健康管理	・夏季休業中の安全な過ごし方		・避難経路の確認		・冬季休業中の安全な過ごし方	・マラソン指導健康管理		・春季休業中の安全な過ごし方	
	対物管理	・消防計画届け出(毎年) ・通学経路の確認(各担任) ・防災マニュアル(地震・津波編) ・校舎内施設、設備、遊具等の点検(各学部等) ・水質検査	・プール施設、設備点検	・プール管理	・冷房器具の設備点検					・マラソンコースの安全確認 ・暖房器具の設備点検			
		各教室、特別教室等の防火管理担当者による毎日の消防設備点検と閉鎖障害チェック、校内巡回指導											
学校安全に関する組織活動(研修含む)													
・校内保健安全委員会(年6回)、労働安全衛生委員会(年6回)、学校保健安全委員会(年1回、研修年1回)、アレルギー委員会(校内危機管理委員会に含む)、小津地区労働安全委員会(月1回、研修年1回)、校内医療のケア委員会(月1回)													
		・教職員火災地震防犯訓練研修 ・火災避難訓練 ・交通安全教室	・スクールバス避難訓練 ・防犯教室	・救急法学習会 ・地震避難訓練及び地震車体験	・教職員地震避難訓練	・火災避難訓練 ・消火訓練 ・消防計画の作成	・児童生徒引き渡し訓練		・教職員火災避難訓練	・火災避難訓練	・地震避難訓練 ・1年間の総括	・次年度の計画	